

自立活動の視点を取り入れた 一貫性のある支援を目指した連携強化

— アセスメントシートと授業サポートメモの活用を通して —

長期研修員 高橋 博紀

児童・家庭の願い

- ・楽しく安心して登校したい
- ・落ち着いて学習したい

学校の課題

- ・適切な児童の実態把握
- ・関係職員間の情報共有

国や県の課題

- ・障害に関わらず共に教育を受けられる環境
- ・切れ目のない支援体制の充実

一貫性のある支援を目指した連携強化



交流学級担任・学年主任・専科教員・支援員・管理職・特支Co.・外部専門家

アセスメントシート

- ・自立活動6区分の視点を基に児童の実態を詳細に把握
- ・目標と支援方法の設定



安心して登校することができるよ。
落ち着いて授業も頑張れそうだよ。

児童の情報をタブレットで共有します。



特別支援学級
担任



児童
家庭

支援体制が充実していると、心強いです。

授業サポートメモ

- ・アセスメントシートの目標と支援方法を反映
- ・リアルタイムで情報更新
- ・目標と支援方法の定期的な見直し

ケース会議

- ・児童の願いと保護者の意向に基づいた支援方針の検討

共通理解の基、一貫性のある指導・支援ができます。



サポートリスト

- ・課題と思われる児童の言動を場面ごとに整理
- ・具体的な支援方法を検討する際の参考資料

児童の実態やニーズに合う支援方法を検討しましょう。



交流学級の授業者

目指す児童像（具体的な子どもの姿）

一貫性のある支援の中で安心して授業に参加し、意欲的に学習に取り組む姿

アセスメントシートと授業サポートメモの活用実践例【児童A】

児童の実態把握と目標設定

児童名	〇〇 〇〇	年 組	支援学級 組	チェック	今年度の目標
(1) 情緒の安定に関すること	○	○		○	・スケジュールを理解し、見通しをもって行動することができる。
・喜怒哀楽の感情を場面に合わせて表出できる。				○	
・好きな活動があり、集中して取り組むことができる。				○	
・自傷行為や他害行為がない。				○	
・怒り、悲しみ、不安などの感情から気持ちを切り替える方法がある。				○	
(2) 状況の理解と変化への対応に関すること				○	【課題となる姿・実態】 飲み物に紙で蓋をして飲みました。教室でゴロップで遊んだりして遊ぶ。
・スケジュールを理解し、見通しをもって行動することができる。				▲	
・目標や活動の順序の整理ができていない。				○	
(3) 障害による学習上または生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること				○	
・「できた」ことを褒められる。				○	

明確になった課題から、最優先の目標を「見通しをもって行動できる」に設定し、支援方法を考えよう。



授業に参加していても、今、何をすべきか分からないなあ。

特別支援学級の自立活動の充実

特別支援学級の目標	支援方法
・授業開始時刻に着席できるように行動する。	・時計とチャイムを意図して生活するように意識をかける。 ・タイマーを使用した時、時刻の確認を促したり、活動の切り替えを明確にする。 ・休み時間の開始前に終了時刻を示し、気持ちが乱れることなく、次の活動に移行できるようにする。 ・自分で授業の準備をし、教室移動ができた時は行動を具体的に褒める。

「チャイム着席」ができるように、時計とチャイムを意識した生活を自立活動で指導しよう。

交流学級の授業でも、活動の開始と終了時刻を明確に示す支援をしてもらおう。



支援方法の共有①

1時間目	教科	行事	授業者	全校	場所	校庭
	単元	主な活動				
	運動会全体練習	団ごとに整列 ラジオ体操				
支援	① 活動の開始と終了の時刻を明確に示し、見通しをもって取り組めるようにする。					
引き継ぎ事項	(^。^;) 教室で事前に説明をしてから校庭に移動したが、外に出たら本人のイメージと違ったようで混乱があった。でもテント付近で見学できた。					

意識して支援したつもりでしたが、具体的なイメージを伝えることが難しかったです。



サポートリスト

課題と思われる実	考えられる原因・理由	具体的な支援ポイント
スケジュールに合わせて行動することが苦手	・情報を聞き取ることができなかった。又は、聞き取っても予定を理解できなかったため、今自分が何をすべきか分からない。	・口頭での説明だけでなく、予定表（スケジュールボード・絵カード等）を作成し、視覚支援をする。

視覚支援など、よりよい支援方法を考える参考になります。



ケース会議（運動会について）

練習と本番の参加の仕方を検討しましょう。



支援方法の共有③

4時間目	教科	理科	授業者	〇〇	場所	教室
	単元	主な活動				
	とじこめた空気と水	注射器を使って、閉じ込めた水の体積の変化を調べる実験				
支援	③ 授業中の主な活動の手順や設定時間を黒板に掲示する。					
引き継ぎ事項	v(^o^)^v 口頭説明は短く、実験の手順や注意点を簡潔に板書することで、見通しをもって落ち着いて取り組めた。					

実験の手順が分かるように板書を工夫してもらったら、落ち着いて取り組めたようです。



支援方法の共有②

3時間目	教科	体育	授業者	学年	場所	校庭
	単元	主な活動				
	運動会練習	① ダンス（前半） ② 遊戯技（後半）				
支援	① 活動の開始と終了の時刻を明確に示し、見通しをもって取り組めるようにする。					
引き継ぎ事項	(^—^) 準備のお手伝いを頑張る。だるま運びリレーに参加できた。前回参加できたことで、見通しがもてていた。					

活動の順番と終了の目安を簡潔に説明したら、やるべきことが明確になったようです。



活動の順番や終わりの時間が分かると、見通しがもてて、安心して学習や行事に取り組むことができるぞ！



【成果】

児童の情報を共有し、自立活動の視点を取り入れた一貫性のある支援を行うことで、児童が安心して意欲的に学習できた。

【課題】

情報共有の効率化と職員の負担軽減を図るために、更にシートを改良する。

【提言】

- 適切な実態把握と情報共有により、一貫性のある支援を行うことで、特別な支援を要する児童が、安心して授業に参加し、意欲的に学習できるようになります。
- 本実践は、全ての教育現場に汎用性があり、大いに成果が期待できます。